

製紙・セメント等業種の進捗状況の概要(2013年度実績)

	目標指標	基準年度 /BAU	目標水準	2013年度実績	進捗率	想定比	2014年度 の見通し	目標の変更	CO2排出量 2013年度実績 (万t-CO2)	2020年以降の 「低炭素社会実行計画」 策定状況
日本製紙連合会	CO2排出量	BAU	▲139万t-CO2*	▲270万t-CO2*	194%	-	-	-	1858	検討中
セメント協会	エネルギー原単位 (生産量:t)	2010年度	▲39MJ/t-cem (▲1.1%)	▲28MJ/t-cem (▲0.8%)	72%	-	-	-	1808	エネルギー原単位 2010年度比 ▲49MJ/t-cem (▲1.4%)(暫定値)
日本印刷産業連合会	CO2排出量	2010年度	▲8%**	▲10.1%**	129%	465%	-	-	142	CO2排出量 2010年度比 ▲16.9%
日本染色協会	CO2排出量	1990年度	▲39%	▲70.2%	174%	-	▲66.4%	-	112	CO2排出量 1990年度比 ▲40%
板硝子協会	CO2排出量	1990年度	▲35%*	▲34.9%*	99%	-	-	-	116	検討中
日本ガラスびん協会	CO2排出量	1990年度	▲60%	▲53.3%	89%	98%	▲55.4%	-	84.6	CO2排出量 1990年度比 ▲61.3%
	エネルギー消費量	1990年度	▲47.5%	▲46.4%	98%	108%	▲46.6%	▲45%→▲47.5%		エネルギー消費量 1990年度比 ▲47.8%
日本衛生設備機器工業会	CO2排出量	1990年度	▲35%*	▲49.7%*	142%	-	-	-	24.9	検討中
プレハブ建築協会	CO2原単位 (供給床面積:m2)	2010年度	▲10%***	▲3.2%***	32%	103%	▲4.2%	-	16.2	検討中

(注1)2013年度実績及び2014年度の見通しについて、基準年度比での削減目標を掲げた業種は基準年度比の削減率を、BAUからの削減目標を掲げた業種はBAUからの削減量をそれぞれ記載。

(注2)「進捗率」は、目標水準と比較した2013年度実績の比率。【進捗率=(基準年度の実績水準-当年度の実績水準)/(基準年度の実績水準-2020年度の目標水準)×100(%)】

(注3)「想定比」は、2013年度について予め想定した水準と比較した実績値の比率。【想定比=(基準年度の実績水準-当年度の実績水準)/(基準年度の実績水準-当年度の想定した水準)×100(%)】

(注4)「目標の引き上げ」は、低炭素社会実行計画においてこれまで目標を変更した年度及びその水準。

(注5)電力のクレジット等調整後排出係数(受電端)と各業界のクレジット量等の償却量・売却量に基づいて算定。

* 日本製紙連合会、板硝子協会は、実排出係数(受電端)に基づき算定。

**日本印刷産業連合会は電力排出係数0.316kg-CO2/kWh(2010年度実績・発電端)に基づき算定。

***プレハブ協会は電力排出係数0.350kg-CO2/kWh(2010年度実績・受電端)に基づき算定。

(注6)着色している業種は、2013年度実績において進捗率が100%を超過している業種。ただし、各業種とも、最終的には2020年実績で目標を達成することとしている。

製紙・セメント等業種の進捗状況の概要(2013年度実績)

	低炭素製品・サービス等による他部門での貢献	海外での削減貢献	革新的技術の開発・導入
日本製紙連合会	定量的分析あり	定量的分析あり	—
	—	—	—
セメント協会	定量的分析あり	—	—
	—	—	—
日本印刷産業連合会	—	—	—
	—	—	—
日本染色協会	—	—	—
	—	—	—
板硝子協会	—	—	—
	定量的分析あり	—	—
日本ガラスびん協会	—	—	—
	—	—	—
日本衛生設備機器工業 会	定量的分析あり	—	—
	—	—	—
プレハブ建築協会	—	—	—
	—	—	—

(注1) 上段は計画に掲げられた削減貢献ポテンシャルについて、下段は削減貢献ポテンシャルに対する2013年度実績について、それぞれ定量的分析の有無を記載。